

2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年7月26日

上場会社名 メタウォーター株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9551 URL <https://www.metawater.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山口 賢二
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理財務企画室長 (氏名) 高瀬 智之 (TEL) 03-6853-7317
 四半期報告書提出予定日 2023年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績 (2023年4月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	21,161	6.2	△2,522	—	△2,141	—	△1,895	—
2023年3月期第1四半期	19,918	25.0	△1,932	—	△1,142	—	△951	—

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 △1,458百万円(—%) 2023年3月期第1四半期 △270百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	△43.48	—
2023年3月期第1四半期	△21.85	—

(注) 株式需給緩衝信託が保有する当社株式は、1株当たり四半期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	135,926	65,022	46.1
2023年3月期	142,695	66,639	45.7

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 62,691百万円 2023年3月期 65,191百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	20.00	—	22.00	42.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	22.00	—	22.00	44.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	155,000	2.8	10,000	15.1	9,500	4.8	6,400	2.4
								146.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年3月期1Q	45,758,500株	2023年3月期	47,758,500株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	2,170,964株	2023年3月期	4,168,064株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年3月期1Q	43,589,639株	2023年3月期1Q	43,562,436株

(注) 株式需給緩衝信託が保有する当社株式は、期末発行済株式総数から控除する自己株式に含めておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予想値及び将来の見通しに関する記述・言明は、弊社が現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営や内外の状況変化により、実際に生じる結果が予想内容とは実質的に異なる可能性があり、弊社は将来予想に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済状況は、各種政策の効果もあり、緩やかに回復しました。世界の経済状況は、一部の地域において弱さがみられるものの、景気の持ち直しが続きました。一方で、ウクライナ情勢の長期化、世界的な金融引き締めに伴う影響、物価上昇やサプライチェーンの停滞及び半導体不足等、景気の下振れリスクに留意する必要があります。

このような状況のなか、当社グループは、2023年度（2024年3月期）を最終年度とする「中期経営計画2023」の達成に向けて、引き続き「①基盤分野の強化と成長分野の拡大」「②研究開発投資の拡大」「③持続的なESGの取り組み」を重点施策とし、全社を挙げて取り組んでいます。

当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、次表のとおりとなりました。

PPP(注1)事業が順調に推移し、売上高は前期を上回りましたが、EPC(注2)事業及び北米子会社の業績が前期と比較し低調に推移したため、営業利益は前期を下回りました。

なお、当社グループの事業の特徴として、官公庁向けの国内公共事業が大半を占めていることから、売上の計上が第4四半期連結会計期間に著しく偏り、第1四半期連結累計期間の業績は低い水準となる傾向があります。

	2023年3月期 (百万円)	2024年3月期 (百万円)	増減 (百万円)	増減率 (%)
売上高	19,918	21,161	+1,243	+6.2
営業利益	△1,932	△2,522	△590	—
経常利益	△1,142	△2,141	△998	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△951	△1,895	△943	—
受注高	38,180	51,771	+13,591	+35.6
受注残高	204,292	259,327	+55,035	+26.9

当社グループの事業は、「プラントエンジニアリング事業セグメント」に基盤分野であるEPC事業及び成長分野と位置付ける海外事業が区分され、また、「サービスソリューション事業セグメント」に基盤分野であるO&M(注3)事業及び成長分野と位置付けるPPP事業が区分されております。セグメント別の業績は次のとおりです。

- (注) 1. PPP (Public-Private Partnership) : 公共サービスの提供に民間が参画する手法
2. EPC (Engineering, Procurement and Construction) : 設計・調達・建設
3. O&M (Operation and Maintenance) : 運転・維持管理

(プラントエンジニアリング事業)

プラントエンジニアリング事業セグメントにおける業績は、次表のとおりとなりました。

EPC事業においては、売上高及び営業利益共に前期を下回りました。海外事業においては、売上高は前期を上回りましたが、北米子会社の業績が前期と比較し低調に推移したため、営業利益は前期を下回りました。

	2023年3月期 (百万円)	2024年3月期 (百万円)	増減 (百万円)	増減率 (%)
売上高	12,325	13,381	+1,056	+8.6
営業利益	△864	△1,833	△968	—
受注高	14,063	18,164	+4,101	+29.2
受注残高	114,779	125,751	+10,971	+9.6

(サービスソリューション事業)

サービスソリューション事業セグメントにおける業績は、次表のとおりとなりました。

O&M事業においては、売上高及び営業利益共に前期と同水準となりました。PPP事業においては、売上高及び営業利益共に前期を上回りました。

	2023年3月期 (百万円)	2024年3月期 (百万円)	増減 (百万円)	増減率 (%)
売上高	7,592	7,780	+187	+2.5
営業利益	△1,068	△689	+378	—
受注高	24,116	33,606	+9,490	+39.4
受注残高	89,512	133,576	+44,063	+49.2

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ6,768百万円減少し、135,926百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金並びに仕掛品が増加しましたが、受取手形、売掛金及び契約資産が減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ8,949百万円減少し、103,692百万円となりました。

固定資産は、建設仮勘定無形が増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ2,180百万円増加し、32,234百万円となりました。

流動負債は、契約負債が増加しましたが、買掛金が減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ7,151百万円減少し、52,081百万円となりました。

固定負債は、PFI等プロジェクトファイナンス・ローンが増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ1,999百万円増加し、18,823百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上及び配当金の支払などにより、前連結会計年度末に比べ1,617百万円減少し、65,022百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の通期連結業績につきましては、2023年4月26日発表の予想から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,724	35,356
受取手形、売掛金及び契約資産	87,191	48,607
仕掛品	2,853	6,477
貯蔵品	7,093	8,246
その他	3,779	5,004
流動資産合計	112,642	103,692
固定資産		
有形固定資産	5,187	5,219
無形固定資産		
のれん	2,467	2,418
顧客関連資産	4,497	4,433
公共施設等運営権	950	937
その他	4,575	7,145
無形固定資産合計	12,490	14,935
投資その他の資産	12,374	12,079
固定資産合計	30,053	32,234
資産合計	142,695	135,926

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	25,463	9,587
電子記録債務	10,158	13,552
短期借入金	2,387	609
1年内返済予定のPFI等プロジェクトファイナ ンス・ローン	887	734
未払法人税等	2,339	309
契約負債	7,134	17,948
完成工事補償引当金	1,185	999
受注工事損失引当金	1,224	1,228
その他	8,452	7,111
流動負債合計	59,232	52,081
固定負債		
PFI等プロジェクトファイナンス・ローン	11,123	13,182
退職給付に係る負債	4,386	4,365
その他	1,312	1,274
固定負債合計	16,823	18,823
負債合計	76,055	70,904
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,946	11,946
資本剰余金	9,411	9,406
利益剰余金	50,890	44,684
自己株式	△7,089	△3,692
株主資本合計	65,158	62,344
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△182	61
繰延ヘッジ損益	3	△2
為替換算調整勘定	1,689	1,491
退職給付に係る調整累計額	△1,477	△1,203
その他の包括利益累計額合計	32	346
非支配株主持分	1,447	2,330
純資産合計	66,639	65,022
負債純資産合計	142,695	135,926

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	19,918	21,161
売上原価	17,119	18,530
売上総利益	2,798	2,631
販売費及び一般管理費	4,731	5,154
営業損失(△)	△1,932	△2,522
営業外収益		
受取利息	33	31
受取配当金	58	52
持分法による投資利益	86	-
為替差益	664	415
その他	1	16
営業外収益合計	844	515
営業外費用		
支払利息	50	51
持分法による投資損失	-	12
投資有価証券売却損	-	40
支払手数料	-	19
固定資産処分損	0	2
その他	3	7
営業外費用合計	54	134
経常損失(△)	△1,142	△2,141
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,142	△2,141
法人税等	△248	△382
四半期純損失(△)	△894	△1,759
非支配株主に帰属する四半期純利益	57	135
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△951	△1,895

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純損失(△)	△894	△1,759
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	244
繰延ヘッジ損益	92	△19
為替換算調整勘定	455	△197
退職給付に係る調整額	77	274
その他の包括利益合計	624	301
四半期包括利益	△270	△1,458
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△387	△1,581
非支配株主に係る四半期包括利益	117	123

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年5月19日付で自己株式2,000,000株を消却いたしました。この結果、資本剰余金が5百万円、利益剰余金が3,396百万円、自己株式が3,402百万円減少し、当第1四半期連結会計期間末において資本剰余金が9,406百万円、利益剰余金が44,684百万円、自己株式が3,692百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	
(税金費用の計算)	税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	プラントエンジニアリング事業	サービスソリューション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,325	7,592	19,918	—	19,918
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	12,325	7,592	19,918	—	19,918
セグメント損失(△)	△864	△1,068	△1,932	—	△1,932

(注) セグメント損失は営業損失ベースの数値であり、四半期連結損益計算書の営業損失の数値との間に差異はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	プラントエンジニアリング事業	サービスソリューション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	13,381	7,780	21,161	—	21,161
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	13,381	7,780	21,161	—	21,161
セグメント損失(△)	△1,833	△689	△2,522	—	△2,522

(注) セグメント損失は営業損失ベースの数値であり、四半期連結損益計算書の営業損失の数値との間に差異はありません。